

1. インド 2. 北アメリカ 3. カリブ諸島 4. 中国

1. 聖書

1. 江戸幕府が大名たちの婚姻や城の修理を制限し、全国の諸大名を統制しようと考えたから
2. 明治政府が近代的な国家を建設するために、西洋の法制度を取り入れて国民の権利を定めようとしたから
3. 応仁の乱を経て室町幕府の支配力が弱まったため、大名が実力で自国の武士や民衆を統制する必要があったから
4. 鎌倉幕府が御家人たちの領地争いを裁判によって公正に解決し、武士の支持を集めようとしたから

1. 身分の低い者が実力によって上の立場の者を倒し、勢力を拡大させていったこと。
2. 農民が団結して自治組織を作り、守護による年貢の取り立てを拒否したこと。
3. 朝廷が有力な武士に官位を与え、伝統的な身分秩序を維持しようとしたこと。
4. 幕府が守護の権限を強め、地方の国人や農民を厳しく統制しようとしたこと。

1. キリスト教の布教を認める代わりに、南蛮貿易を独占してヨーロッパの文化のみを追求した。	2. 会合衆と呼ばれる商人たちが町を治め、銃砲の製造技術を取り入れることで軍事的・経済的地位を高めた。	3. 朝廷からの特権を得た公家たちが、伝統的な和歌や蹴鞠の文化を町衆に広めた。	4. 勘合貿易の独占によって得た利益を背景に、幕府の役人が直接町を支配した。
---	---	---	--

1. この兵器の伝来により、騎馬武者が名乗りを上げて一対一で戦う伝統的な戦術がより一層重視されるようになった。

2. この兵器は朱印船貿易が最も盛んだった江戸時代初期に初めて日本にもたらされ、幕府の軍事を支えた。

3. 1543年に伝えられたこの兵器は、集団戦法への転換を促し、防御力の高い城郭の構造などにも大きな影響を与えた。

4. この兵器は元軍が日本に襲来した際に初めて伝えられたもので、鎌倉幕府が滅亡する直接の原因となった。

1. 全国の戦国大名が共通のルールを持つことで、大名間の和平を促進するために制定された。
2. 農民が団結して一揆を起こすことを推奨し、幕府の権威を完全に否定するために制定された。
3. 家臣たちが実力で主君をしのぐ下剋上の動きを抑え、領内の秩序を維持するために制定された。
4. 朝廷から与えられた公家法をそのまま適用し、京都の文化を地方に広めるために制定された。

1. 連座（縁座） 2. 喧嘩両成敗 3. 奉公と恩賞 4. 目目安箱

1. ベリー（アメリカ海軍） 2. 鑑真（唐招提寺） 3. フランシスコ・ザビエル（イエズス会） 4. マルコ・ポーロ（東インド会社）

1. 尊王攘夷 2. 御成敗式目 3. 下剋上 4. 一向一揆

1. 室町幕府の命令を全国の農民に守らせ、将軍の権威を強めるため	2. キリシト教の布教を制限し、外国との貿易を大名が独占するため	3. 朝廷から与えられた官位の順序に従って、家臣の序列を整理するため	4. 家臣同士の争いを抑え、民衆を含めた領民全体を統制して領国を安定させるため
----------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	---

1. 承久の乱 2. 観応の擾乱 3. 応仁の乱 4. 島原の乱

1. 分国法 2. 御成敗式目 3. 武家諸法度 4. 建武式目